3R促進ポスターコンクール最優秀賞表彰

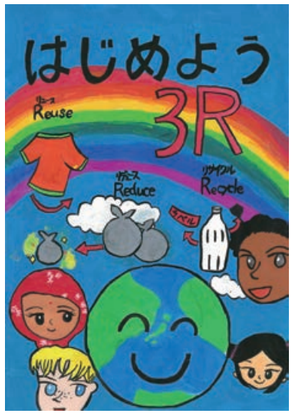
令和3年度3R促進ポスターコンクール入賞作品（敬称略）

最優秀賞

小学生低学年の部

香川県善通寺市立
吉原小学校1年

小学生中学年の部



富山県富山市立
呉羽小学校4年

小学生高学年の部

愛知県安城市立
二本木小学校6年

中学生の部

東京都墨田区立
竪川中学校3年

当日の催し

3R推進展示コーナー（10:00～16:30）

①令和3年度3R促進ポスターコンクール入賞作品　②和歌山県　③環境省近畿地方環境事務所
④3R推進団体連絡会（容器包装リサイクル法関連8団体）　⑤3R活動推進フォーラム
⑥リデュース・リユース・リサイクル推進協議会　⑦和歌山県内のNPO・企業団体　⑧和歌山県内の自治体

第15回3R推進全国大会実行委員会事務局（3R活動推進フォーラム内）　TEL.03-6908-7311

主 催　第15回3R推進全国大会実行委員会
（環境省、環境省近畿地方環境事務所、和歌山県、3R活動推進フォーラム）

お問い合わせ先　実行委員会事務局（3R活動推進フォーラム内）TEL: **03-6908-7311**

プログラム

大会プログラム

第Ⅰ部 13:00▶13:50 大会式典

- 主催者挨拶　環境大臣・和歌山県知事・3R活動推進フォーラム会長
- 循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰
- 3R促進ポスターコンクール最優秀賞表彰

第Ⅱ部 14:00▶16:30 記念シンポジウム

「プラスチック資源循環等の取組み（3R+Renewable）の促進等を考える!!」

～海洋プラやプラスチックの分別収集等私たちの出来ることから始めよう～

基調講演

「高度な資源の循環利用に関する国内外の動向」

3R活動推進フォーラム会長・中部大学副学長・
経営情報学部大学院教授・慶應義塾大学名誉教授　**細田 衛士** 氏

特別講演

「プラスチック資源循環促進法が目指すもの」

公益財団法人京都高度技術研究所　副所長・京都大学名誉教授　**酒井 伸一** 氏

パネルディスカッション ～プラスチック一括回収等今後のプラスチック対策の方向性～

コーディネーター

NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット前理事長　**崎田 裕子** 氏

パネリスト

（NPO）大阪府立大学人間社会システム科学研究科 准教授 **千葉 知世** 氏
（企業）花王株式会社 ESG部門 テクニカルエキスパート **金子 洋平** 氏
（和歌山県）和歌山県参事・廃棄物指導室長 **高垣 晴夫** 氏
（政府）環境省環境再生・資源循環局総務課循環型社会推進室長 **平尾 禎秀** 氏

関連イベント

施設見学Webツアー（日時:10月20日（水）10:15～Webツアースタート）定員500人

1. **花王エコラボミュージアム**（花王の環境への取組及び施設見学）
2. **株式会社松田商店**（リサイクル施設の説明及び施設見学）

申し込みいただきましたメールアドレス宛に専用アドレスをお送りします。
お申込み（先着順）が多い場合は、参加をお断りする場合があります。

3R推進展示コーナー 活動内容等をオンライン配信します。（10:00～16:30）

①令和3年度3R促進ポスターコンクール入賞作品　②和歌山県　③環境省近畿地方環境事務所
④3R推進団体連絡会（容器包装リサイクル法関連8団体）　⑤3R活動推進フォーラム
⑥リデュース・リユース・リサイクル推進協議会　⑦和歌山県内のNPO・企業団体　⑧和歌山県内の自治体

令和3年度循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰

表彰者のご紹介（順不同・敬称略）

3R活動優良企業

ヨコハマタイヤリトレッド株式会社北海道事業所

昭和48年から、走行により摩耗したタイヤの接地面を削り、表面に更生タイヤ用ゴムを貼り付ける方法でタイヤを再生してきた。特に再生スタッドレスタイヤは北海道事業所が中心となって進めるなど、同社の中で大きな役割を担ってきた。これらの取組により廃棄物の発生抑制と資源消費量を削減してきた。

株式会社JR博多シティ

当施設は1日に15万人が訪れる大型商業施設である。平成23年から屋上緑化や太陽光パネルの設置、テナントへのごみの排出指導を実施。平成29年からは19種類のごみ分別指導を進めるとともに、大型処理機を導入して生ごみ飼料化を進める等、ごみの減量資源化を推進。さらに、近隣の子供たちを対象とした体験学習会や環境イベントを実施する等、子供たちの環境意識の向上に寄与している。

井村屋グループ株式会社

平成17年のISO14001取得を契機として食品廃棄物の発生抑制・再生利用等を実施。具体的には中華まんの生地余りやカステラの端材等の養鶏・養豚用への飼料化、小豆カス等を堆肥化して自社で使う野菜栽培への使用。さらに、規格外商品の地域住民への廉価販売、出荷許可期限が切れた商品等を社会福祉協議会等への寄付等。長年にわたるこれらの取組によりリサイクル率90%以上を維持している。

メルシャン株式会社八代工場

平成27年から焼酎製造時に発生する蒸留残さ（焼酎粕）を県内の養豚農家と協力し給餌飼料として利用を開始。これらの取組により、平成27年からの6年間に7158tの焼酎かすを餌として再利用し、CO2削減にも寄与した。また、キリンホールディングスや東京大学との共同研究を通じ、麦焼酎粕が肉質向上につながることを解明し、飼料コストの低減ばかりでなく肉質向上へとつなげている。

株式会社島津製作所

令和2年1月より取引先と共同で、各事業所のごみ保管場所の天井にIoTセンサーを設置し、廃プラスチックの保管量をリアルタイムで把握し、回収する取組を開始。このシステムでは最適な回収タイミングと最適な回収ルートを自動で提案できるため、収集車両の走行距離の減少によるCO2排出量削減を実現。さらに、これまで量が少ないために焼却等に回っていたプラスチックの共同回収が可能となり、リサイクル率の向上に寄与している。

3R活動推進功労（団体）

小矢部市連合婦人会

昭和54年から、家庭で使われなくなった日用雑貨を福祉施設に寄付する活動を実施。また、平成10年から始めたマイバックの普及活動は県下全域でのレジ袋無料配布廃止の実現の大きな後押しとなった。最近では家庭で持て余す食材を持ち寄るサルベージパーティの普及に取り組む等、ごみの減量化・リサイクルの推進に多大な貢献をしている。

特定非営利活動法人プロジェクト保津川

団体設立の平成19年以来、保津川の清掃活動を実施するとともに、「保津川下り」の船を活用した清掃ツアー等の環境学習を実施。また川とつながっている海ごみ問題へも関心を持ってもらうために、毎年、小中学生等を対象に「こども海ごみ探偵団」を実施。さらに、ごみをマッピングするスマホアプリを初めて開発し、河川上流での海ごみ対策の重要性を発信している。